



# いっぱん質問



P.10  
●農泊の推進を



出水 貴之 議員



P.10  
●消滅可能性都市報道後のまちづくり



新井 聖次 議員



P.11  
●里親制度について



藤 伸一 議員



P.11  
●人権教育は靴減らしの実践活動



中嶋 時夫 議員



P.12  
●山野炭鉱爆発事故から60年



岩永 利勝 議員



P.12  
●飲酒運転に対する職員への取り組みは



畠中 博文 議員



P.13  
●部活動地域移行



山本 真之 議員



P.13  
●中学校部活動改革が進む



豊田 一元 議員



P.14  
●コメ農家の犠牲の上に



田中 義幸 議員



P.14  
●高齢者が元気に過ごせるまちづくりに



田上 孝樹 議員



P.15  
●市民の暮らしに寄り添った交通アクセス



佐伯 憲子 議員



紙面の都合により、いっぱん質問の内容を680字以内でまとめています。

質問全体の内容については、会議録に掲載しています。会議録は、議会事務局、各支所、市内図書館および嘉麻市議会ホームページからご覧いただけます。

なお、一般質問はケーブルテレビにより、生放送と録画放送を行っています。また、YouTubeによる生中継と録画配信も行っています。

スマートフォンやタブレット端末で、録画映像をご欄になりたい議員のQRコードを読み取ると、「嘉麻市議会」のYouTubeサイト内へアクセスできます。ぜひご視聴ください。



新井 聖次 議員



**問** 来年は市長改選の年だが・・・

**答** 来年4月の市長選挙に立候補したいと考える

**質** 削減可能性都市としての課題・方向性は。 **課長** 人口減少対策が最重要課題。移住定住に繋がる持続可能なまちづくりが必要である。 **質** 豊かな暮らしを支える活力あるまちづくりの施策は。 **市長** 企業誘致・事業拡大促進により就業の場を創出。デマンドバス運行等の公共交通利用の促進。カホアルペなど観光拠点の設置。市の魅力発信を行う。

**質** 誰もが健やかに暮らせる福祉のまちづくりの施策は。 **市長** 地域福祉計画に基づき、介護保険サービスや子育て支援の充実など子どもから高齢者まで全ての人が安心して生活できるような取り組み。 **質** ふるさとに誇りを持つ教育・文化のまちづくりの施策は。 **市長** 学校教育では教育アクションプランを基に児童生徒の教育的

ニーズに対応し、義務教育学校を中心に小中一貫教育を充実させていく。生涯学習では社会教育の推進、人権尊重精神を育成する教育推進を柱に取り組み。 **質** 自然と共生する安心・安全なまちづくりの施策は。 **市長** 防災・減災対策や自然環境の保全とSDGs達成を目指し、自然と調和した美しい嘉麻市の創設に力を入れる。

**質** 市民と行政による協働のまちづくりの施策は。 **市長** 小さな拠点事業の推進による市民参画・庁舎課題整理など新しい行政需要に迅速に対応していく。 **質** 来年は市長改選の年だが、今後どのように市政を継続するのか。 **市長** いつまでも安心して生活できる、やさしさに満ち溢れたまちづくりを進めるため、来年4月の市長選挙に

立候補したい。  
※他に心身の健康問題  
うつ病・自殺予防対策  
を質問。



出水 貴之 議員



**問** 第4次嘉麻市観光振興基本計画に「農泊推進」の明記を

**答** 明記することを検討している

**質** これまでの農泊推進の成果と課題は。 **課長** 令和2年度から令和5年度まで、カホアルペ近くの畑で野菜の植付けや収穫体験イベントが12回開催され、市内外より約500名以上の参加があった。しかし、日帰りの体験イベントであり、宿泊につながっていないなどの課題がある。 **質** どのような支援体制をとっていくのか。 **課長** 嘉麻市観光まち

づくり協会と連携しながら、嘉麻市全域での農業体験や、民泊の受け入れが可能な農家の掘り起こし、収益性のあ事業化の検討を行う。また、人材の確保や受入れ農家への協力の捻出等、基盤整備を検討していきたい。 **質** 空き家を活用した農泊の取り組みは。 **課長** 財政上等の問題もあり、現時点では検討していない。 **質** 第4次嘉麻市観光

振興基本計画では、農泊推進を明記するべき。 **市長** 明記することを検討している。 **質** 公用車の削減数は。 **課長** 令和6年度末で206台所有しており、令和2年度末から40台削減している。 **質** 市所有の軽トラックなど数台を、市民に貸し出す事業ができないか。 **課長** 市が加入している保険は、市の事業及

び職員の利用に限定される。不特定の市民に貸し出す場合は、費用のかかる民間保険の加入が必要になる。 **質** 貸出車両は数台であり、経費がネックであるなら、公用車に有料広告を掲載して収益を得ることも考えられる。市民団体等のまちづくりを支援するためにも検討できないか。 **市長** 公用車に広告を掲載し収入を得ることは、財政的に助かる。し

かし、事故等が発生した際の責任の所在等の問題もある。今後の検討課題としたい。



中嶋 時夫 議員



問 人権教育をどう考える

答 全ての子どもに学びの場を保障することだ

質 嘉麻市の市民意識調査では「なぜそのような部落問題があるのか不思議に思った」という回答が4割程度、誤った歴史認識で部落問題を理解している割合が6割にも及ぶ。学習指導要領には、正規の教科として人権教育はない。部落問題の学習の実施計画は、

質 昨今の社会状況をみると、不登校やいじめなどの差別事象が繰り返し行われ、ネット上でも部落差別を始めさまざまな差別事象の実態があるが授業づくりは、

質 学校の人権学習は、子どものリアルな感覚や問題意識に対応できているのか。

質 さまざまな人権課題や家庭環境の課題を抱えた児童生徒に対する人権教育をどう考える。

本市の目指す就労できる力の育成につなげる。 ※他に人権擁護委員制度、隣保館事業を質問



藤 伸一 議員



問 里親制度の普及の取り組みは

答 支援センターと連携し、周知・啓発に努めていく

質 担当課としての里親制度の認識は。

質 里親になるための具体的な要件は。

質 今後の里親制度についての行政の関わり方は。

質 子どもの成長を支える大切な制度であり、啓発を引き続き行うとともに、提案のデジタルサイネージを活用した周知に努めていく。

質 多くの市民への周知・啓発の観点から10月の里親月間に合わせて、庁舎前のデジタルサイネージを活用した啓発の取り組みの考えは。



畠中 博文 議員



**問** 飲酒運転防止対策の当市の取り組みは

**答** 先進的な取り組み事例も参考に進めていく

**質** 飲酒運転防止対策の啓発活動は。  
**課長** 飲酒運転撲滅を旨とし、インフォメーションでの意識啓発や交通安全研修、倫理研修を実施している。  
**質** 違反者に対しての処遇や罰則は。  
**課長** 地方公務員法第29条・33条や市職員倫理条例などに基づき、懲戒処分の対象となり厳正な対応を行う。

**質** 公用車を使用する時のルールはあるのか。  
**課長** 車両運行責任者が運転前と運転後にアルコール検知器による確認を行い、記録簿に押印し保管している。公用車の鍵の管理は、所属長管理のもとと保管している。  
**質** 同乗者もアルコールチェックをすべきではないのか。  
**課長** 基本的には、運転者のみ。

**意見** 今後は同乗者も必ずアルコールチェックを徹底するよう要望する。  
**質** 窓口から見える場所に車両の鍵が掛かってあった。このような不具合は、現状管理だとアルコールチェックをしなくても公用車を使用できる状態ではないか。  
**課長** 部署によっては、管理体制に不備がある点もあり、今後は所管する管財課との協議の上、鍵の保管は厳正に

対応する。  
**質** 今後、飲酒運転防止対策の方向性は。  
**課長** チェック体制の充実や強化、記録管理の適正化に取り組みとともに、先進的な取り組み事例も参考にしている。  
**質** アルコールチェックアプリの導入について市長の見解は。  
**市長** 飲酒運転防止対策の指針は決定しているが、運用に関しては各課に任せていた。今後は、統一した管理も視野



に入れながら対応するよう指示したい。

岩永 利勝 議員



**問** 山野炭鉱災害犠牲者刻銘版設置は

**答** クラウドファンディング方式も有効

**質** 慰霊碑管理は。  
**課長** 公園管理として土木課で石碑周辺や花壇の改修を行っている。また、稲築東義務教育学校の生徒による清掃活動やボランティア団体の花壇管理が行われている。  
**質** 三井山野炭鉱ガス爆発事故から60年を迎えた。後世に残すために現在どう取り組んでいるのか。  
**課長** 大惨事を風化させないよう炭鉱歴史の

教育普及事業として企画展を開催、体験者をゲストティチャーとして学校に派遣するなど歴史教育の支援の取り組みを行っている。  
**質** 慰霊碑には犠牲者の名前が刻まれている。当時子どもであった遺族も60歳を越え、後世に伝え残すうえで犠牲者刻銘版を石版かプラスチック版で設置してほしい。費用は。  
**課長** 石版は石種・加工・寸法によって変わ

り、約150〜300万円、プラスチック版で30〜50万円程度と考えられる。  
**質** 市補助金を使用せず予算の確保を要望したいが、考えはないか。  
**課長** 237名の尊い命が奪われた事故は後世に伝えていかなければならない。財源の確保はクラウドファンディング方式も有効ではないかと考える。刻銘版設置等を含め、この出来事が次世代に繋

がるよう関係部署及び地域住民と連携し努めていきたい。  
**質** 防災行政について  
**質** 鴨生地区の有害対策工事の進捗状況は。  
**課長** 平成26年度から順次工事を行い、昨年度からは枝坂地区の調整池関係工事を施工中である。  
**質** 工事遅延の原因は。  
**課長** 新設側溝経路の地盤が軟弱であり、電柱移設などの調整が必要となった。



三井山野炭鉱学校練習坑道

**要望** 通学路であるため安全な工事と早急な工事完了を願う。

豊田 一元 議員



問 部活動の地域移行はどう進めている

答 「部活動の在り方検討委員会」で展開中

質 中学校の生徒数減少及び教員の働き方改革で部活動存続が困難な現状である。国は今年度までの3年間で部活動の地域移行推進期間とし、令和13年度までを実行期間としている。推進体制は。

質 育課に配置し推進している。
質 地域移行による運営の方向性は。
参事 複数の学校が合同で活動する方法と学校から離れて地域の指導者が行う地域クラブへの移行、稲築志耕館高校との連携も検討している。

参事 指導員の配置や生徒送迎等の予算化が必要となるがスケジュールは。
参事 令和10年度までに休日の部活動を拠点部活動へ移行し、11年度から3年間で平日の拠点部活動への移行を進め、13年度までに移行を完結する計画だ。

質 地域移行実施に向けた所感と決意を。
教育長 課題を整理しながら子どもたちが笑顔で部活動に関われるような嘉麻市スタイルをつくっていききたい。
市民憲章制定を
質 市民憲章がないことに市民から疑義の声があった。県内で未制定は3市のみ。制定に向けた見解を。



民と行政が共通理念として未来を築く重要な節目に向け調査研究の指示を出したい。

山本 真之 議員



問 部活動の今後の計画は

答 まずは拠点校部活動への移行を目指す

質 部活動の現状と課題は。
参事 生徒の視点として、少子化に伴い学校単独として成立しない部活動が増えてきている状況があり、希望していない部活動をしている生徒もいるという課題がある。

質 部活動の地域移行をどう考えているか。
参事 令和4年度に嘉麻市部活動の在り方検討委員会を立ち上げ、その中で3つの取り組みを考えている。1つ目は、1つの場所に集まり合同で行う拠点校部活指導の実施。2つ目は、地域の指導者が中心に行う地域クラブへの移行及び立ち上げ。3つ目は、可能であれば、中学校部活動にはない部活動を設置して

いる稲築志耕館高校との連携である。
質 今後の計画は。
参事 まずは複数の学校が寄り添って行う拠点校部活指導への移行を推進していく予定である。
計画としては、令和10年度までに休日の部活動を拠点校部活動への移行を目指していく。そして、令和11年度からの3年間は、平日の拠点校部活動への移行を目指す、令和13年度までに

は、休日及び平日の完全拠点校部活動への移行を完結するよう考えている。
そして、生徒がスポーツや文化芸術活動に継続して親しむ機会の確保、教職員の働き方改革という2つの目的を達成させていくには、休日の単独指導が可能な部活動指導員の確保が必要となる。そのため、予算の計上、組替を考えていきたい。
※他に学習環境を質問。



田上 孝樹 議員



問 健康寿命の延伸

答 平均寿命と健康寿命を縮める予防に取り組む

質 総人口の5人に1人が後期高齢者である。人生100年と言われる中、元気でいきいきと日常生活を送れるよう健康寿命延伸のためのフレイル予防は重要となる。本市の取り組みは。

課長 フレイル対策として早期に発見し、運動、栄養、社会参加に取り組み、現状を維持することはもとより元の状態に戻ることでもできる。平均寿命と健康

質 寿命の差を縮めるために、フレイル予防に取り組んでいく。

質 フレイル予防サポートメニューの強化、充実は。

課長 市役所のロビーでの測定会などで実際の活動を見てもらうことで、サポートメニューの充実を図りたい。

質 市民向けのフレイル講習会や各種イベントの実施や啓発は。

課長 フレイル測定会

質 サルビアパーク、確井市民ホールで開催する。また、広報紙や出前講座などで啓発している。

要望 緑が多く景観がいい、歩きやすいといったまちづくりは健康に良い行動をとることにつながる。このような環境改善にも取り組んでほしい。

質 加齢性難聴は放置して意思疎通が難しくなれば認知機能の低下やうつ病、社会的孤立

あることを指摘しておく。改正障害者差別解消法

質 同法改正の具体的な内容は。

課長 合理的配慮提供の義務化などが、規定されている。

質 聴覚情報処理障害がある児童・生徒への合理的配慮は。

教育長 現在該当する児童・生徒は、報告されていない。

全ての子ども達が学びを進めることができ、



※他に終活支援、教育行政を質問。

田中 義幸 議員



問 コメ農家の95%は赤字なのか

答 データの示すとおりそうだと

質 2023年度全国平均コメ買い取り価格の目安は、60kg当たり1万2000円である。10ha未満の農業経営体は、全体の95%であり、60kg当たりの生産コストは、1万2000円を超えている。

つまり、23年以前はコメ農家の95%が赤字であり、総生産量の半分は、赤字の状態で作られているということになるのか。

課長 データの示すとおり、そうだと思う。

質 家族労働費と自己地代費も収入とするのが、推定所得である。これで計算すると1.7ha規模では、23万円の収入がある。

しかし、年間400時間の労働時間である。35a以下の農家は、完全に赤字で無償労働となっている。見解は。

課長 コメ農家の厳しい現実だと思う。成り立たない産業であることは明白だ。

質 直近3年のコメ買

い取り価格の推移は。

課長 JAの概算金は、昨年1万6000円で、今年は2万1000円が示されている。

意見 95年の食料管理法改正前は、60kg当たり2万4000円である。20年前であれば35aの農家でも10万円程度の所得があった。昨年1万6000円で、高くなってきたが95年の2万4000円には届かない。農家の犠牲の上に成り立っている、コメ行政で

あることを指摘しておく。改正障害者差別解消法

質 同法改正の具体的な内容は。

課長 合理的配慮提供の義務化などが、規定されている。

質 聴覚情報処理障害がある児童・生徒への合理的配慮は。

教育長 現在該当する児童・生徒は、報告されていない。

全ての子ども達が学びを進めることができ、



かつ配慮が必要な子ども達にも、集中できる環境を整えてゆく。

# みんなで徹底しよう 三ない運動

政治家の寄附は禁止  
有権者が求めることも禁止されています。

これらのものも、政治家の  
寄附禁止の対象となります。

入学祝・卒業祝 結婚祝※



贈らない!

町内会の集会等の催物への  
寸志・飲食物等の差入  
お祭りへの寄附



求めない!

葬儀の  
供花 香典※



受け  
取らない!

病気見舞



御中元 御歳暮



※政治家本人が結婚披露宴、葬式等に自ら参加して  
その場で行う場合は罰則が適用されない場合があります。

寄附禁止のルールを守って  
明るい選挙を実現しましょう

## 佐伯 憲子 議員



**問** 旧市町区域を越えた  
デマンドバスの運行

**答** 関係部局が連携し移動支援、  
生活交通のあり方の検討

**質** 熊ヶ畑いこいの家の入浴施設修繕に伴う休館の際、山田地区の市民から「稲築地区のなつきの湯までデマンドバスを利用するには、直接目的の地までは行けず、乗り換えが必要で接続が悪い。高齢者は入浴しなくてよいのか。」と苦情の声が届いた。今回のような修繕期間だけでも、デマンドバスの旧市町区域乗り入れの特例措置の考えはないのか。

**課長** デマンドバスは、運行業者が九州運輸局に区域運行の許可を受けて運行している。許可には、運行する範囲を定める必要がある。市内を運行する交通事業者との協議を経て、旧市町区域を範囲として定めているため、旧市町区域を越えた運行を行うことは難しい。利用者には負担をかけることになるが、乗り換えを行ってもらうことになる。

**質** デイサービス等を利用し、入浴可能な高齢者はよい。風呂の維持費の高騰や単身で入浴するリスクを避けるために、市内の温浴施設を利用して高齢者は意外に多い。車を手放した高齢者はバスが必要となる。

**副市長** 本市の交通アクセスの課題は、総合計画において重要なテーマ

として位置付けている。実際に多くの声が寄せられており、深刻さを認識している。

本市は人口減少、高齢化が進み、公共交通だけでは持続可能な交通網の維持が極めて難しい状況。そのため、交通政策課に限らず、関係部局が連携しながら移動支援、生活交通のあり方について検討していく。

※他に危険な通学路対策を質問。

